

保護者の方へ

# お子さんが楽しい小学校生活を送るために

～乳幼児期にこのような習慣や体験を!!～



## 自然体験をさせよう

自然とのふれ合いを通して、自然が持つ雄大さ優しさ、厳しさや生命の尊さなどを実感することは、豊かな心や感性等を育む上で大切です。

例えば…

- ◆草木にふれたり、夜の星空をながめたりする
- ◆親子で一緒に外遊びをして季節を体感する など

## 生活体験をさせよう

朝起きてから夜寝るまで、あいさつ、食事、衣服の着脱など、基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。また、集団遊びなど、友達のかかわりをもつ機会を増やすことも大切です。

例えば…

- ◆おうちの人のお手伝いをする
- ◆異年齢で宿泊をする（3～4歳位から） など

人と関わる力

判断力  
行動力

家族の一員  
としての自覚

伸ばしたい主な資質・能力

がまんする心  
責任感

物事に取り組む  
意欲・体力



自分や他の人を  
大切にする心

豊かな感性

社会性  
協調性



## 読み聞かせをしよう

本の読み聞かせは、親子の心のふれ合いを生み、豊かな感性やことばが身につきます。

あせらずに楽しみながら続けてください。

## がまんする体験をさせよう

成長する過程で経験する社会生活には、困難な場面がたくさんあります。この時期にある程度がまんする、困難に対処するなどの体験をさせる必要があります。

例えば…

- ◆生活の中でルールを決めて守る
- ◆山歩きやハイキングに挑戦する など

## 早寝・早起きをしよう

早寝・早起き・朝ごはんの規則正しい生活リズムは、心身の活力を生み出す原動力となります。幼児期から習慣をつけましょう。

幼稚園や保育所（園）では、年長の子どもが年少の子どものお世話をしたり、自分の考えを発表したりするような経験をしています。

このような経験を通して芽生えている自立心や意欲を大切に育む必要があります。

そのため、家庭・学校・地域等では、子どもの自立や意欲を損なうことにならないよう、配慮する必要があります。

